

令和7年度 学会発表

1	福嶋敬子:がん地域連携パスの運用状況～病診連携の視点からの検討～. 第25回日本クリニカルパス学会学術集会,2025,(富山),[口演]
2	福嶋敬子:愛知クリニカルパス研究会におけるパス研修会開催の活動報告～パスを学び話れる場の開催～. 第29回愛知クリニカルパス研究会,2025,(愛知),[口演]
3	山田知里、高畑知帆子、片岡愛弓、橋本直弥、原文堅:看護師と患者における安全安楽なフェスゴ®投与方法の変更.第63回癌治療学会学術集会,2025,(神奈川),[口演]
4	青木智子、小谷はるる、澤木正孝、服部正也、吉村章代、片岡愛弓、柴田亜弥子、高木礼子、田崎智子、岩田広治:乳癌患者における頭皮冷却装置の長期的有効性とコストに関する満足度調査－質問紙の意見から満足度の影響要因を分析する－.第63回日本癌治療学会学術集会,2025,(横浜),[口演]
5	倉石幸治:アンメットニーズに応える！肺RFA、7年ぶりのバリエーション分析.第25回日本クリニカルパス学会学術集会,2025,(富山),[口演]
6	中島貴子:ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)の患者支援の検討.日本放射線腫瘍学会第38回学術大会,2025,(東京),[口演]
7	井上さよ子:外見変化による生活上の困難さを抱える頭頸部がん患者のアピアランスケア ～患者とともに問題状況を捉え課題の解決策を検討した看護外来の一事例～.第40回がん看護学会学術集会,2026,(大阪,)[示説]
8	Sho Umegaki, Masumi Yamaguchi, Satomi Nishio,Waki Hosoda, Hiromichi Ebi:Tissue-based DNA Quality Impairment in Prostate Cancer: Analysis and Future Strategies to Improve CGP Testing -How should CGP test performed in prostate cancer ?, 2026 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting (Kanagawa), [Oral]
9	山口真澄、楠本茂、河合秋美、川口裕佳、萩原真也、齋藤統子、柴田典子、細田和貴、西尾里美、梅垣翔、衣斐寛倫;造血管腫瘍遺伝子パネル検査の円滑な運用への取り組みと実際,第23回日本臨床腫瘍学会学術集会(神奈川)[示説]

令和7年度 講演・講義講師、学会座長、シンポジスト

1	向井未年子:口演第1群「薬物療法Ⅰ」.第40回日本がん看護学会学術集会,2026,(大阪),[座長]
2	吉川恵:成人・老年看護方法Ⅳ・緩和ケアの実際. 三重県立看護大学, 2025,(三重),[講師]
3	吉川恵:AYA世代(思春期・若年成人)がん患者・家族への支援. 令和7年度第5回公開講座 愛知県がんセンター, 2026,(愛知),[講師]
4	吉川恵:令和7年度愛知県がん化学療法チーム研修会・看護師の視点から見た医療の経済毒性. 愛知県がんセンター, 2026,(愛知),[講師]
5	深堀慎一郎:がん薬物療法における血管確保WEBセミナー安全な血管確保に向けたエコー下穿刺の活用と普及に向けた取り組み.テルモ株式会社主催, 2026,(愛知),[講師]
6	高畑知帆子:シンポジウム「施設で One Team よりよいパートナーとなるためのヒントを考える～多職種連携・多職種協働するために、他職種の業務を知り職種の専門性を理解する～.がん CRC 学会 第5回学術集会シンポジスト, 2025,(web開催)[シンポジスト]
7	高畑知帆子:患者さんに寄り添う胃癌薬物療法を実現するために～外来看護師スタッフの取り組み～. Cancer Care Step Seminar 2025～患者さんに寄り添う治療について考える会, 2025,(愛知),[講師]
8	高畑知帆子:当院におけるirAEマネジメント～看護師の立場から～.名古屋市南部肺がん講演会, 2026,(愛知),[講師]
9	山田知里:「ゾルベキシマブで思うこと 看護師の立場から」.多職種で学ぶ!胃癌診療ーいまと将来に必要なアップデートー,WJOG, 2025,(東京),[現地ファシリテーター・WEBセミナー登壇者]
10	山田知里:多職種で挑む副作用マネジメント:トルカブを巡るPRO活用ヒント. 第67回東海乳腺疾患懇話会, 2025,(愛知),[講演・パネリスト]
11	山田知里:ライブリバント®患者支援プログラム(PSP)アドバイザーリーボード, Johnson& Johnson, 2025,(東京、WEB),[アドバイザー]
12	山田知里:フェスゴ® からの贈り物～患者にも臨床現場にも優しい皮下注製剤の導入～. 第22回日本乳癌学会中部地方会イブニングセミナー, 2025,(愛知),[講演]

13	山田知里:皮下注射製剤大百科ー他癌腫での経験から、現場に迎えるまでー. Johnson&Johnson Web Seminar on Lung Cancer, 2026, (愛知), [講演]
14	小川明伸:重症化・急変予測に必要なスキル ～臨床推論の思考を学ぶ～.公益社団法人大阪府看護協会短期研修,2025,(大阪府),[講師]
15	小川明伸:利用者さんの『いつもと違う』を感じるためのフィジカルアセスメント.大阪府訪問看護ステーション協会研修,2026,(大阪府),[ファシリテーター]
16	千種智之:UTI予防.学研メディカルサポート, 2026, (愛知), [講師]
17	長岡祥子:ハンズオンセミナー. 第3回東海消化器内視鏡技師会, 2025, (愛知), [講師]
18	藤田恵:交流集会・がん患者の“気持ちのつらさ”にどう寄り添うかーガイドラインを現場で活かす視点. 第40回日本がん看護学会学術集会, 2026, (大阪), [話題提供者]
19	井上さよ子:コンサルテーション論.愛知医科大学大学院 看護学研究科,2025,(愛知),[講師]
20	井上さよ子;コンサルテーション論.日本赤十字豊田看護大学 大学院看護研究科 ,2025,(愛知県),[講師]
21	井上さよ子:当院における患者支援について・アピランス支援について. 第5回公開講座 愛知県がんセンター, 2025,(愛知), [講師]
22	永田智子:地域との連携交流会～併診について考える.勝又病院 地域連携交流会, 2026, (愛知), [講師]
23	永田智子:自己決定支援.第10回あしたば緩和ケア講座 ホスピス緩和ケア病棟,2026,(愛知),[講師]
24	久保知:放射線療法を受ける患者の看護.金城学院大学看護学部, 2025, (愛知), [講師]
25	久保知:放射線.東三河看護専門学校, 2025, (愛知), [講師]
26	向井未年子:シンポジウム「患者の意向と医療者が良いと思う選択肢が異なるとき」.第30回日本緩和医療学会学術大会,2025,(福岡),[座長]
27	向井未年子:シンポジウム「アドバンスケアプランニングの今～アドバンスケアプランニングのより良い形とは?～」.日本緩和医療学会第7回東海・北陸支部学術大会,2025,(岐阜),[座長]
28	笹川良子:一般演題「看護」.第49回リザーバ&ポート研究会,2025,(東京),[座長]
29	山口真澄:がん看護論「オンコロジックエマージェンシー」.名古屋市立大学看護学研究科, 2025, (愛知), [講師]
30	山口真澄:がんゲノム医療連携Webセミナー「患者家族への遺伝子パネル検査説明」.コニカミノルタREALM株式会社, 2025, (愛知), [講師]
31	山口真澄:ベストプラクティスから学ぶがんゲノム医療実務者セミナー.株式会社ガーダントヘルスジャパン, 2025, (東京), [パネリスト]
32	山口真澄:遺伝子検査 ～エキスパートな臨床検査技師を目指して～「愛知県がんセンターにおけるがん遺伝子パネル検査の実際と円滑な多職種連携のポイント」. 2025, (滋賀/WEB) [講師]
33	山口真澄;がんゲノム医療連携Webセミナー from 香川「がん遺伝子パネル検査を受ける 患者・家族へ看護の関わり～愛知県がんセンターの取り組み～」.株式会社GenMineLabos, 2026, (香川/WEB), [講師]
34	山口真由美:多職種で作る周術期管理チーム～チームで困難症例に立ち向かう～.The 9th TSEP Team Building Seminar,2025,(東京),[パネリスト]
35	山田健司:疾病治療論Ⅴ(麻酔及び手術と全身管理).愛知県総合看護専門学校,2025,(愛知),[講師]

令和7年度 原稿執筆

1	向井未年子:「がん看護のきほん」編集.照林社,2025
2	戸崎加奈江:がん薬物療法②抗がん薬の分類と特徴. がん看護のきほん,照林社,P122-128,(2025)
3	戸崎加奈江:がん患者に発生するヒヤリハットPart1総論/インシデント・アクシデント.YORi-SOUがんナーシング第15巻3号,メディカ出版,P20-22,(2025)
4	新田都子:ヒヤリハットから学びに変える！がん治療薬の安全ナビゲーション 事例17 患者さんの夫(高齢認知症)がレスキュー薬をすてていた.YORI-SOU¥,Vol 15 No3,Mcメディカ出版,P89-93,2025
5	新田都子:「ヒヤリハットから学びに変える！がん治療薬の安全ナビゲーション 事例18」紛失、ドレッシング剤で覆う……フェンタニルテープのヒヤリ.YORI-SOU,Vol 15 No3,Mcメディカ出版,P94-99,2025
6	西尾里美:がん専門病院のエキスパートが書いたがん看護のきほん.照林社,P38-46,P337-338,2025.
7	藤田恵:事例15スイッチング時のオピオイドの停止・開始時間の間違い/容量間違い. YORi-SOUがんナーシング ヒヤリハットから学びに変える！がん治療薬の安全ナビゲーション, 3月号, メディカ出版, P78-83, (2025)
8	藤田恵:事例16再入院した患者さん(フェンタニル貼付剤使用中)にオピオイドを点滴投与した. YORI-SOUがんナーシング ヒヤリハットから学びに変える！がん治療薬の安全ナビゲーション, 3月号, メディカ出版, P84-88, 2025
9	高畑知帆子:「認知症がん患者の血管外漏出と発見の遅れ」、「CVポートによる薬剤の皮下漏出の発生」.YORI-SOUがんナーシング2025vol.15No.3,メディカ出版,34-44,2025